

第42回 葛城市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

開催日時 令和8年6月30日（火）10時00分
開催場所 新庄健康福祉センター3階保健指導室
出席人数 22名（委員24名中）
欠席者 奈良国道事務所 副所長 横山 健司委員
葛城市区長会 会長 川本 隆三委員

議事

1. 開会

2. 会長挨拶

- ・今回は健康福祉センターでの開催だが、以前は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場として使っていたため、ほぼ2日に1回は来ていた。その時から、まだ3年なのかな、もう3年なのかなと、複雑な感じがします。
- ・地域公共交通においても、コロナの影響はかなり受けた。ようやく3年経って、完全とは言わないがコロナ以前の実績に戻りつつある。
- ・今年で3回目の芝桜まつりを開催し、市内外から4万人のかたが来ていただいた。新型コロナウイルス感染症からの復興を目標としたイベントであり、確実に私たちの生活がコロナ以前に向かうということが大切だと感じている。
- ・地域公共交通については、今年度が計画の見直しの年になる。内容が盛りだくさんになるが、委員の皆様方には慎重に、また貴重なご意見を頂戴したい。

3. 報告案件

（1）令和7年度決算及び会計監査について（資料1、資料2）

- ・資料のとおり

【意見】

無し

（2）葛城市公共交通の利用状況について（資料3、資料4、資料5）

- ・資料のとおり

【意見】

無し

4. 協議案件

(1) 地域公共交通計画の別紙（案）について（資料6）

・「地域公共交通計画の別紙（案）」は環状線ルートの地域内フィーダー系統確保維持国庫補助の申請書案である。環状線ルートは大和高田市立病院に乗り入れを行っているものの、大和高田市市民の利用を想定していないことや運行経費の負担を行っていないことから、その旨を記載し、本市のみの「地域公共交通計画の別紙」にて国庫補助金の申請を行う。軽微な修正や運輸局の指摘による修正を行うことがあるが、修正の対応については事務局に一任いただきたい。

【意見】

・別紙の内容については、大和高田市が当該系統についてフィーダー補助金を申請するつもりはないため、記載のとおりで問題ない。

【協議結果】

承認

(2) 第2期葛城市地域公共交通計画策定について（資料7、資料8、資料9－1、資料9－2、資料9－3、資料9－4）

・現行計画は今年度末で計画期間が終了するため、今年度中に次期計画として、第2期葛城市地域公共交通計画の策定を予定している。

・現行計画の目標達成のための施策・事業として、公共バス等の運賃無償化事業実施、マイ時刻表作成、おでかけマップ作成、コミュニティバスのG T F S公開等を実施した。現行計画の数値指標の達成状況は、多くの指標で達成していると評価した。

・第2期葛城市地域公共交通計画策定にあたり、現在の地域公共交通に対する意見を把握するため、アンケート調査を実施する。

【意見】

・資料9－4の問4または問5において、公共バス等への税金投入額を伝えてはどうか。単に100円、200円と聞くと安い金額に回答が集まってしまう。今後は、税金の投入額が増えてくると思われるため、財政状況や負担状況も加味して回答してもらうのが良いと考える。（奈良県タクシー協会 葛城委員）

【回答】

・ご指摘の通り、運行に係る委託経費は年々増えている状況にある。表現を工夫して追加したい。

【協議結果】

承認

5. その他

(1) 次回の会議開催日程について

- ・令和8年10月を予定

以上